ZERO PLUS TIMES 〈ゼロプラスタイムズ〉
令和8年（2026年）
2月号
Vol.27

Interview ：サンダーロボ（精密板金溶接ビート及び塗装下処理装置）の開発

本社の宮崎です。
1月号に続き、制御盤などの精密板金加工やプレス加工、組立加工を行う㈱行田製作所様を取材しました。
板金加工業だけでなく、ロボットシステム製造メーカーとしても事業の裾野を広げています。
その先駆けとしてサンダーがけ（溶接仕上げ）を自動化するロボットを開発しており、ゼロプラスはそのプロジェクトマネジメント支援をさせていただいています。

株式会社行田製作所様（群馬県） 後編

宮崎：これまで板金加工業を営んでいたわけですが、それがサンダーロボを開発するに至った経緯は何でしょうか？
行田様：これまでに抜き・曲げ・溶接工程を自動化して、最後の仕上げ工程が自動化できておらず、量産化のボトルネックとなっていました。また世の中にサンダーがけを自動化するロボットがなかったので、それであれば自分たちで開発してしまおう、ということでサンダーロボを開発しました。

宮崎：板金加工屋がロボット開発とは思い切りましたね。
行田様：でもまさに板金加工屋がロボット開発をするから強みが出ると思っています。ロボットシステム屋と異なり、板金加工屋は、**圧力のかけ具合・ワークに当てる角度・スピード等のサンダーがけのノウハウを持っています。**
特に弊社は、工場長のサンダーがけの技術力が長けているので、まさにその**熟練技術をロボット化**したとも言えます。
宮崎：具体的な反響や、これからどんなところに売っていく計画などはありますか？
行田様：MF-TOKYOや国際ウエルディングショーに出展しましたが、**国内外から引き合いがたくさん来ています。**
主要顧客は盤屋ですが、**製品の審美性が求められる業界**（家具メーカー等）などへも提案する機会があります。

サンダーロボの特徴

・サンダーがけ（溶接仕上げ）の自動化
従来は人手が行わざるを得ないサンダーがけを自動化。
板金だけでなく木工加工など多方面にも活用可能。

・圧力センサーによる高精度加工
熟練工の技術をロボット化。
ワークに合わせた最適な加工が可能。

・工具の自動交換装置
サンドペーパーも含め自動で交換が可能。
さらに自社で保有する既存のアタッチメントを装着可能。

Gyoda 株式会社行田製作所

会社名：株式会社行田製作所
住所：群馬県高崎市吉井町矢田693-1
電話番号：027-329-5445
会社HP：https://gyoda.info/

サンダーロボのチラシ・動画は
こちらから！

Instagram

子会社の中古パレット販売・
レンタルを行う会社

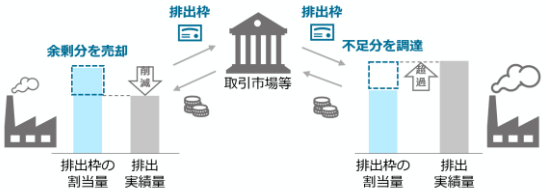
当社HP	カタログ補助金.com	CO2比較.com	Youtube	Instagram	公式LINE
ゼロプラスの歴史や理念、事業内容をご紹介！	省力化補助金（カタログ注文型）対象設備を簡単検索！	脱炭素に関する最新情報を随時公開！	当社の会社紹介や脱炭素セミナーを動画でチェック！	ゼロプラスの雰囲気や従業員たちの楽しい日常！	大場社長 / ゼロプラス 補助金・脱炭素などのお役立ち情報を配信！

問い合わせ先
〒 664-0858
兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F
TEL 072－764－5340
FAX 03－6800－5265
Mail
info@zeroplus-consul.co.jp

脱炭素ニュース・展示会出展情報

2026年4月より、排出量取引制度が開始されます。

〇排出量取引制度とは？
政府が対象となる企業にCO2排出量の上限（排出枠）を設定し、その排出枠の過不足に応じて排出枠を取引する制度です。CO2排出量が排出枠を超えてしまう場合は、排出枠を購入することで調整し、逆に排出量を抑えて枠が余った企業は、その分を市場で販売して利益を得ることが可能です。



（出典）経済産業省HP

排出量取引制度が始まると、脱炭素対応が経営に与える直接的な影響が大きくなることから、対象となる企業は脱炭素への取り組みに今以上に力を入れていきます。CO2を多く排出している大企業は、自社だけでなくサプライチェーン全体でのCO2削減を強化していくと予想されるため、取引先である中小企業にも脱炭素対応の要請が来る可能性が高いです。

【展示会出展情報】

2026年2月19日～20日に開催される「2026九州ユニークソリューションフェア」に出展いたします。

省エネ対策や補助金情報等、丁寧にご説明させていただきますので、お気軽にご質問いただければと思います。

皆様のご来場を心よりお待ちしております！

重労働を自動化！「パレタイザー」もカタログ補助金の対象に

重量物の積み上げ作業は、危険を伴う過酷な重労働です。そんな現場の救世主「パレタイザー」が、実は今、カタログ補助金で手軽に導入できることをご存じでしょうか。
「いつでも」「選んで」使えるこの制度なら、煩雑な手続きを抑えてスピーディーに自動化を実現できます。過去に検索して諦めていた方も、ラインナップが拡充された今こそ再検索のチャンス。補助金を活用して、お得に現場の安全と省力化を進めましょう！

カタログ補助金.com
「パレタイザー」一覧

代表から一言

行田製作所さんの工場は自動化が叶う工場です。機械スペース、作業スペースともに余裕があり、台車がスムーズに走れるフラットな床があります。そして整理整頓も行き届いています。でも自動化が容易な量産品工場ではないんです。少量生産品でも自動化生産をコンセプトに長年考え続けた結果、工場建設時点から機械レイアウト、工場管理まで配慮が行き届いています。
そんな先見性の塊のような行田さんが開発したのが、このサンダーロボ。現場作業の中でもカラダに負担が多く、できればやりたくないサンダー工程。これまで、複雑な形状のワークに繊細なチカラ加減で作業するには人間に頼るしかありませんでした。
こうした難しい課題を最新のハードウェアと、現場ノウハウ、自動化に関する知見を集結させて完成しました。現場の気持ちから出来たロボット発売開始します。是非動画ご視聴ください。